





## はじめに

この冊子は、伝統芸能を上演する劇場である国立劇場大劇場、小劇場の舞台とはどのようなものか、スタッフはどのような仕事をしているのか、それを知っていただく目的でまとめたものです。

国立劇場は、平成 27 年 1 月に公益社団法人全国公立文化施設協会と共催で劇場・音楽堂等人材養成講座を実施しました。翌 28 年 1 月には、関東甲信越静岡ブロック アートマネジメント研修会を行い、その中で国立劇場舞台技術部・制作部職員による舞台技術研修会を開きました。舞台技術に関する研修は種々行われていますが、伝統芸能の舞台についてはほとんど触れられておらず、国立劇場で研修会を実施する以上、ぜひ伝統芸能の舞台技術の概要を知っていただきたいと思い、また各会館で伝統芸能の公演を行う際の注意点なども提示できればと考えました。

しかし、実際に実施してみると、さまざまな問題点がわかりました。研修時間の割に内容が多岐にわたることが大きな原因でしたが、講義する側の私たちが研修に不慣れなことも一因でした。必ずしも舞台の専門家でない方々に、わかりやすく知識を伝えるテキストが必要であると痛感した次第です。

早速テキストの作成に取り掛かりましたが、私たちが国立劇場で行っている伝統芸能の舞台技術の何を伝えるべきなのか、普段行っていることが当たり前すぎて、何をどう伝えるのがよいのか迷いました。そこで、現場の声を日本舞踊の研究家でもある阿部さとみ氏にまとめていただきました。

これが完成形ではなく、まだまだ充実させてゆかなければなりません。ご意見やご質問を頂戴できれば幸いです。いずれは、この冊子が日本全国の会館で伝統芸能の公演を実施する際のよき手引きとなってくれることを、私たち国立劇場スタッフ一同、心から願っています。

令和 2 年 3 月

## 改訂版発行にあたって

初版は、伝統芸能について舞台運用の側面から知っていただき、全国で行われている伝統芸能公演の、標準的な舞台運用方法を確立したいという意図で発行されました。おかげさまで、伝統芸能の舞台の実際がよく分かると評価をいただきました。今回の改訂では、初版の誤りを正すとともに、中央労働災害防止協会のご協力により、安全面での記述を大幅に拡充しました。今回もできるだけ舞台の実際に即して、わかりやすい記述を心がけました。皆様からのご意見、ご質問をお待ちしています。

令和4年6月

独立行政法人日本芸術文化振興会  
理事 大和田 文雄

# 目 次

## 第1章 舞台

- 1 舞台業務について・・・1
  - (1) 舞台機構の操作、備品及び楽屋
  - (2) 舞台スタッフ
  - (3) 公演種別
  - (4) 舞台業務の次世代への継承
- 2 舞台機構と保守管理・・・7
  - (1) 舞台機構
  - (2) 保守管理
- 3 舞台業務における安全対策・・・13

## 第2章 照明

- 1 照明業務について・・・18
  - (1) 照明業務の流れ
  - (2) 照明スタッフ
  - (3) 公演種別
  - (4) 照明業務の次世代への継承
- 2 照明機材及び設備と保守管理・・・22
  - (1) 照明機材及び設備
  - (2) 保守管理
- 3 照明業務における安全対策・・・27

## 第3章 音響

- 1 音響業務について・・・33
  - (1) 音響操作と効果音
  - (2) 音響スタッフ
  - (3) 公演種別
  - (4) 音響業務の次世代への継承
- 2 音響設備と保守管理・・・38
  - (1) 音響設備
  - (2) 保守管理
- 3 音響業務における安全対策・・・42

## 第4章 舞台監督

- 1 舞台監督業務について・・・43
  - (1) 舞台監督業務の流れ
  - (2) 舞台監督スタッフ
  - (3) 公演種別
  - (4) 舞台監督業務の次世代への継承
- 2 舞台監督業務における安全対策・・・49

## 第5章 舞台美術

- 1 舞台美術業務について・・・51
  - (1) 舞台美術業務の流れ
  - (2) 舞台美術スタッフ
  - (3) 公演種別
  - (4) 舞台美術業務の次世代への継承
- 2 舞台美術業務における安全対策・・・65

## 第6章 伝統芸能の舞台と安全

- 1 舞台の安全管理体制・・・66
  - (1) 総括安全衛生管理者
  - (2) 舞台安全管理者
  - (3) 公演安全責任者
- 2 舞台の安全に関する協議・・・71
  - (1) 舞台安全保持委員会
  - (2) 舞台整備会議ほか
- 3 舞台の安全教育・・・73
- 4 伝統芸能と安全のこれから・・・74